

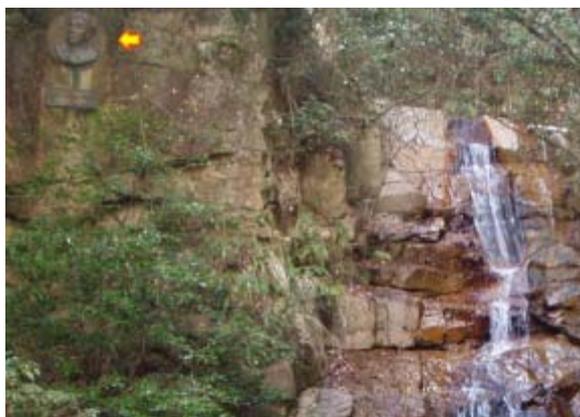
<東灘区の滝> 高座の滝 - 芦屋川水系・高座川（普通河川） -



「高座の滝」は、阪急電鉄「芦屋川駅」から北に上がって2 kmほどで行くことができます。滝のすぐ近くまで舗装されており、滝が入口になる登山道をたどって行くとロックガーデンから六甲山頂へと至ります。



この滝は、昔、修験者の道場として有名だったらしく、今も滝の右側には小さなお堂（灘八十八ヶ所番外五番霊場と記された看板があります）があり、往時を偲ばせています。



のレリーフ。彼はロックガーデンの名付け親であり、ロックガーデンを日本の近代登山発祥の地にしたと言われています。

向かって滝の左上に位置する大きな岩にはめ込まれた皿型のもは、山岳詩人であり、1920年代に岩登りの技術を日本中に広めた人物でもある藤木九三氏

位置図



<一口メモ>

「高座の滝」は芦屋市にある滝として紹介されることが多いのですが、川が神戸市と芦屋市の市境となっており、高さが約10 mとそう大きくない割には有名で、しかも比較的気軽に行くことができる滝なので、ここでも紹介しました。